

平成18年度

第4期

# 少年町長・議員活動 報告書



平成18年度  
遊佐町少年町長・少年議会解散パーティー



平成19年3月 山形県遊佐町

# 目次



Be~chan  
米~ちゃん  
遊佐町イメージキャラクター

- 少年町長・町長挨拶 ..... 2
- 遊佐町少年町長・少年議会活動経過報告 ..... 3
- 遊佐町少年町長・少年議員公選事業実施要項（第4期）... 4
- 選挙チラシ ..... 7
- 若者の意見調査票 ..... 8
- 選挙広報 ..... 9
- 有権者（中高生）の町への意見（抜粋） ..... 11
- 政策提言 1 第2回少年議会より ..... 13
- 政策提言 2 第3回少年議会より ..... 19
- 政策予算により実施したもの ..... 26
- 少年議会の政策提言により、町が実施したもの ..... 28
- 遊佐町少年町長・少年議員公選事業プロジェクト名簿  
おわりにかえて ..... 29



# 少年町長・町長挨拶

第4期少年町長

## 池田 加奈



「遊佐町少年議会」に興味を抱いたのは学校の先生の「やってみな  
いか?」というさりげない一言からでした。

一枚のちらしを見た私は、迷うことなく参加することに決めました。  
この決意から1年間、私は少年助役を務め、更には次の年に少年町長  
という新たな役職につき、計2年間この事業に参加させていただきました。  
この2年間の貴重な体験は、私に新風を巻き起こしてくれました。

この2年間を通して一番強く感じたことは、遊佐町の住民同士の絆  
がとても固いということです。日々進化していく遊佐町は、心温かく何  
事にも熱心な住民のみなさんのおかげで成り立っているのだと実感し  
ました。少年議会の取組みにも積極的に協力してくれ、何度助けられ  
たかわかりません。このような中で活動し、私は自分自身をプラスの方  
向に変えることができましたと思います。普通の高校生活を送っていたら  
身につける事のできなかつた考え実行する力、団結力など様々な力を

身につけることができました。他にも、この2年間で沢山のひとと知り合い、いろいろなお話を聞くことができました。そのおかげで、自分  
自身の視野も広がりました。また、議会中は議員のみなをまとめていたことで責任感も強くなったと思います。

このように、自分自身を再発見し力を伸ばしてきた中で、これから遊佐町にどう関わり、貢献できるだろうと考えるようになりました。  
高校3年生になり、就職活動も始まり、受けたい会社が見つからず途方に暮れていた私に、タイミングよく担任の先生が遊佐町の会  
社の求人をお勧めしてくださいました。大好きな遊佐町で働けるならと試験を受け、見事に合格することができました。このように「仕事」  
という形で、また遊佐町に関われることをとても嬉しく思います。また、遊佐町には、若者が集まり様々な企画をし、活動しているもの  
があるので、私も参加し、遊佐町に少しでも貢献できればと思います。

最後に、私は2年間の遊佐町少年議会という素晴らしい経験を、今度は社会人として更にパワーアップさせ、若者の代表となり、遊  
佐町を「若者が引く張る熱い町」に作り上げていきたいと思っています。みなさん、期待しててください!

私が過ごした2年間の少年議会生活...それは私にとって最高の財産です。

遊佐町長

## 小野寺 喜一郎



第4期少年町長の池田加奈さん、そして6人の少年議員のみなさん、  
多忙な学校生活の中での約半年間の活動、大変ご苦勞様でした。ま  
た、ありがとうございました。

この遊佐町少年町長・少年議員公選事業は、若者達が自分達の住  
む地域に目を向け、まちづくりの担い手として、あらゆる場で活動して  
欲しいという願いを込めて実施してきました。

第4期のみなさんからも、若者の視点から遊佐町を捉えた多くの政  
策提言をいただきました。また、あいさつ運動の推進、昔遊び教室や  
音楽イベントの実施、要望書の作成などその活動は多岐にわたり、町  
民に数々の刺激を与えていただきました。今回事業で実施できなかつ

た課題につきましても真摯に受け止め、その実現のために全力をあげていきたいと考えております。

若者達が未来を創造するため集い語り合い、自分達の手で実現していくことは、遊佐町のこれからのまちづくりにとって特に重要  
なことです。これからも、行政として、そして共に遊佐町の未来を考える仲間として、若者達が生活課題や地域課題を解決していくそ  
の熱意を積極的に支援し、見守っていききたいと考えております。

第4期少年町長・少年議員の活動成果と遊佐町への想いが、続く第5期のみなさんにつながるように願いながらお礼といたします。

# 遊佐町少年町長・少年議会活動経過報告

概要	期日	場所等	備考
少年町長・少年議員の候補者募集		広報ゆざ 5月1日号	HPも同時開設
遊佐中学校&各高校生徒への説明会	5月1日(月)~12日(金)	各学校	各プロジェクト委員が担当学校に出向き、説明を行う。
立候補者受付期間(告示)	5月15日(月)~5月19日(金)	遊佐町少年町長・議員公選事業事務局	立候補者募集開始 定数少年町長1少年議員10名立候補の抱負を一緒に提出する。
立候補者告示	5月19日(金)		同日、少年町長・少年議員ともに立候補者が定員に満たなかったため、全員が当選確定。
選挙広報・若者の意見調査票送付(管外高等学校)	5月29日(月)	管外各高等学校郵送	
選挙広報送付(管内高等学校・遊佐中学校)	5月29日(月)	管内高等学校・遊佐中学校	若者の意見調査票は別途
若者の意見調査票受付	6月5日(月)~6月11日(日)	遊佐町中央公民館・町立図書館・遊佐駅・吹浦駅・各学校	遊佐中学校・各高等学校で受付日を設定し、調査票を持参し受付を行う。(担当プロ職員)
調査票受付箱回収(公共施設分)	6月12日(月)		
平成18年度遊佐町少年町長・少年議員当選証書等交付式	6月18日(日)		当選証書・議員バッジ交付
第1回少年議会(本議会形式)	6月18日(日)		議長及び副議長の選出・抱負の発表
第1回少年議会全員協議会	6月24日(土)	町役場議事所	オリエンテーション・町内現地視察
第2回少年議会全員協議会	7月10日(月)	町役場議事所	オリエンテーション(町行政について)
日本海沿岸東北自動車道遊佐町建設促進大会	7月13日(木)	パレス舞鶴	少年町長 池田加奈 意見発表
第3回少年議会全員協議会	7月19日(水)	町役場議事所	有権者の意見集約ワークショップ・町民盆踊り大会への対応
第4回少年議会全員協議会	7月26日(水)	町役場議事所	有権者の意見集約ワークショップ2
第5回少年議会全員協議会	8月2日(水)	町役場議事所	政策提言まとめ2
2006年北京国際学生キャンプ活動	8月5日(土)~8月11日(金)	中国・北京	少年議会より4名派遣
第37回町民盆踊り大会への参加	8月14日(月)	第37回町民盆踊り大会会場	
第2回少年議会(本議会形式)	8月26日(土)	町役場議事所	第1回目政策提言
第14回鳥海ツアーマーチエール	9月2日(土)・3日(日)	遊佐町町民体育館前広場	全国からのお客さんに出発のエールを送る。
庄内青少年健全育成研修会	9月9日(土)	三川町公民館	池田加奈 少年町長がパネリストとして参加
第6回少年議会全員協議会	9月13日(水)	役場102会議室	政策予算45万円の使い方について①
政策検討班(第1班)活動	9月27日(水)	役場102会議室	政策についてより深く検討するため、二班に分けて担当する政策を決めて議論を行った。各班で検討された内容は、全員協議会で報告し、再度話し合いを行い政策の実施内容を決定した。また、必要があれば、各自連絡を取り合い班編成に関係なく全員で活動を行った。
	10月2日(月)		
	10月3日(火)		
	10月7日(土)		
	10月16日(月)		
政策検討班(第2班)活動	9月20日(水)	役場102会議室	
	10月2日(月)		
	10月3日(火)		
	10月16日(月)		
第7回少年議会全員協議会	10月6日(金)	役場102会議室	各班検討内容の発表と話し合い
第29回神鹿角切祭	10月9日(月)	大平山荘	角切り役、抽選会スタッフとして参加
ふるさとCM大賞参加CM撮影	10月9日(月)	町内	少年議会が企画・出演
音楽イベント「遊佐ROCK」開催	10月22日(日)	中央公民館ホール	少年議会が企画・運営
第8回少年議会全員協議会	11月6日(月)	役場102会議室	遊佐ROCK開催結果について・各班検討内容の発表と話し合い②
「だがし屋 たちより処 ぼん」参加	11月11日(土)~12月17日(日)	遊佐駅前「ぼん」店舗	イベント企画・販売スタッフとして当番制により参加
第9回少年議会全員協議会	11月13日(月)	役場102会議室	「若者が選ぶ町民花」候補花決定・昔遊び、郷土料理教室について
第10回少年議会全員協議会	11月24日(金)	役場102会議室	あいさつ運動の実施方法について話し合い
現地調査	11月25日(土)	町内	政策検討班第2班による要望書作成及びベンチの設置にむけての現地調査
平成18年度選挙啓発公開講座	11月29日(水)	山形市	池田加奈 少年町長が講師として参加
あいさつ標語募集	11月30日(木)~12月7日(木)		町内6地区小学校5・6年生を対象に、あいさつ標語を募集
あいさつ標語選考	12月8日(金)	役場102会議室	3作品を少年議会あいさつ標語に決定
第11回少年議会全員協議会	12月14日(木)	役場102会議室	昔遊び・郷土料理教室最終打ち合わせ
昔遊び・郷土料理教室開催	12月16日(土)	中央公民館2階会議室	少年議会が企画
街頭あいさつ運動	12月17日(日)	町内	あいさつ標語をもとにした看板の作成・街頭にてチラシ配布と呼びかけ
町内ベンチ設置	12月26日(火)	吹浦駅・蔵岡公民館前・あぼん西浜前	町内2箇所にベンチを設置(あぼん西浜前は、雨天のため後日設置)
第3回少年議会(最終議会・本議会形式)及び解散パーティ	12月27日(水)	町役場議事所・中央公民館第1・第2会議室	町当局への政策提言2回目・任期満了に伴う解散パーティ

# 遊佐町少年町長・少年議員公選事業実施要項(第4期)

## 1. 名称 遊佐町少年町長・少年議員公選事業

## 2. タイトル 「若者の力で、遊佐の未来をつくろう」

常に、歴史は若者によって創られてきました。地域の青年たちは、いつでも地域を変革していく「力」を蓄えています。青年たちが自分たちの住まわちを自分たちの協働の「力」で変革しはじめるとき、時代が拓かれ地域の民主主義が再生します。そして、地域の中で若者たちが生活者として認識され、若者たちの居場所と出番が地域の中に見えてきます。そのことを通じて、若者が生き生きと生活していく自立した地域が再生されます。

## 3. スローガン

自分たちの力で、自分たちが本当に求める遊佐のまちをつくろう。

遊佐町は、私たちが生まれ育った町です。鳥海山、月光川、庄内砂丘と日本海に抱かれ、豊かな自然や歴史風土あふれる町です。21世紀をむかえ、私たちの前には地球的規模での環境の悪化、エネルギー、食糧、人口問題、さらに、民族問題、経済格差などの新たな問題や課題が横たわっています。改めて、これまでの社会、経済そして私たちの「生き方」「あり方」「生活の仕方」そのものの大転換が迫られています。

そして、さらに私たちを取り巻く仕組みの大きな変化として「分権社会」が到来し、自分たちの生き方を自分たちが決めていくという社会システムを構築していくことが求められています。こうした状況をふまえて、若者たちの意見や願いをもとに若者の力で遊佐町の地域づくりを行おうとするものです。

## 4. 事業のねらい

- (1)若者たちが、自らの代表を直接選び、政策を実現していくことで、学校外で民主主義を実際に体験・学習することにより社会の構成システムを学ぶ。
- (2)中高校生等の未来を担う若者の視点から、町政への提言や意見を町が積極的に採り上げることを通じて、若者の町政参加を促す。
- (3)この事業に関わるすべての関係者が、若者の町政に対する意見に学び、併せて若者たちが、社会システムや民主主義を相互に学ぶ場としたい。(相互教育)

## 5. 少年町長・少年議会の構成対象者

遊佐町在住の中高校生及び遊佐町に通学する高校生。

構成者はだれでも、少年町長及び少年議員の選挙権と被選挙権をもつ。

また、少年議会では、自らの政策立案と少年町長の議案審議権を有する。

## 6. 構成員

- (1)少年町長(1名) 構成対象者のうち少年町長に立候補し、全構成者の投票により信任された者
- (2)少年議員(10名) 構成対象者のうち少年議員に立候補し、全構成者の投票により信任された者
- (3)少年助役・少年監査 少年町長・少年議員に立候補し、当選できなかった者のうちから、少年助役(若干名)・少年監査(若干名)を委嘱できるものとする。委嘱された少年助役・少年監査は、少年議会の構成員となる。

## 7. 少年町長

少年町長は、遊佐町少年町長・少年議員公選事業にかかる全ての構成者の代表であり少年議会に承認された政策の実現のため遊佐町長に対して、予算要求を行う権限をもつ。

また、遊佐町長より交付された政策予算の予算執行権をもつ。

### 8. 少年議会

少年議会は、少年町長が招集し議案を提案し承認を得る。少年議会は、最初の議会で議長及び議長代理を選任するとともに、少年町長の議案審議を行う。

併せて、自ら少年政策立案を少年議会の場で行うことができる。

### 9. 少年助役

少年町長を補佐し、少年町長不在の場合、臨時的に政策実現における執行権限をもつ。

### 10. 少年監査

少年監査は、少年議会の附属機関として、予算執行に関する監査権をもち、少年町長に勧告することができる。

### 11. 事業期間 平成18年4月～12月（第4期）

#### 12. 事業スケジュール（概要）

平成18年4月 第4期プロジェクトチームの立ち上げ（遊佐町役場内）  
 平成18年4月 各高校への協力お願いと生徒への主旨説明  
 平成18年5月 立候補者対策  
 平成18年5月 少年町長及び少年議会議員立候補者受付・立候補者チラシ作成  
 平成18年6月 全構成員による直接選挙  
 平成18年6月 当選証書の交付及び事業説明  
 平成18年6月 第1回少年議会  
 平成18年6月～8月 政策討議  
 平成18年8月 第2回少年議会  
 平成18年8月 遊佐町長への予算要求  
 平成18年9月～予算執行（事業の実施）  
 平成18年12月 末日、任期満了

### 13. 留意点

#### (1)中学生・高校生への周知方法

- 専用HPを開設する。－遊佐町公式HPへ
- 各高校長あて協力依頼文書を発送する
- 遊佐中学校及び各高等学校へ出向き、学校側に趣旨を説明するとともに、当該生徒を集めて説明会を開催し投票への協力を依頼する。（プロジェクトで分担）
- 対象者用チラシ、ポスターを作成する。

#### (2)町民への周知方法

- 専用HPの他、広報を活用する。

#### (3)選挙管理の方法（投票事務）

投票事務は次のとおりとする。

##### ①管内高等学校・遊佐高等学校・遊佐中学校

各学校ごとに投票期間中1日を投票日に設定し担当プロジェクトが出向き行う。

投票管理は、投票用紙を配布し有権者の意見を記載して候補者の投票を行う。

##### ②管外高等学校

立候補者告示にあわせて、選挙広報及び投票用紙を各高校に送付し、対象者に配していただくよう依頼する。投票は、遊佐駅、吹浦駅、遊佐町中央公民館、遊佐町立図書館に設置された投票箱にて行う。

③遊佐町内公共機関における投票箱の管理は、各施設管理者にお願いする。

④開票事務は、第3期少年町長・少年議員にお願いする。

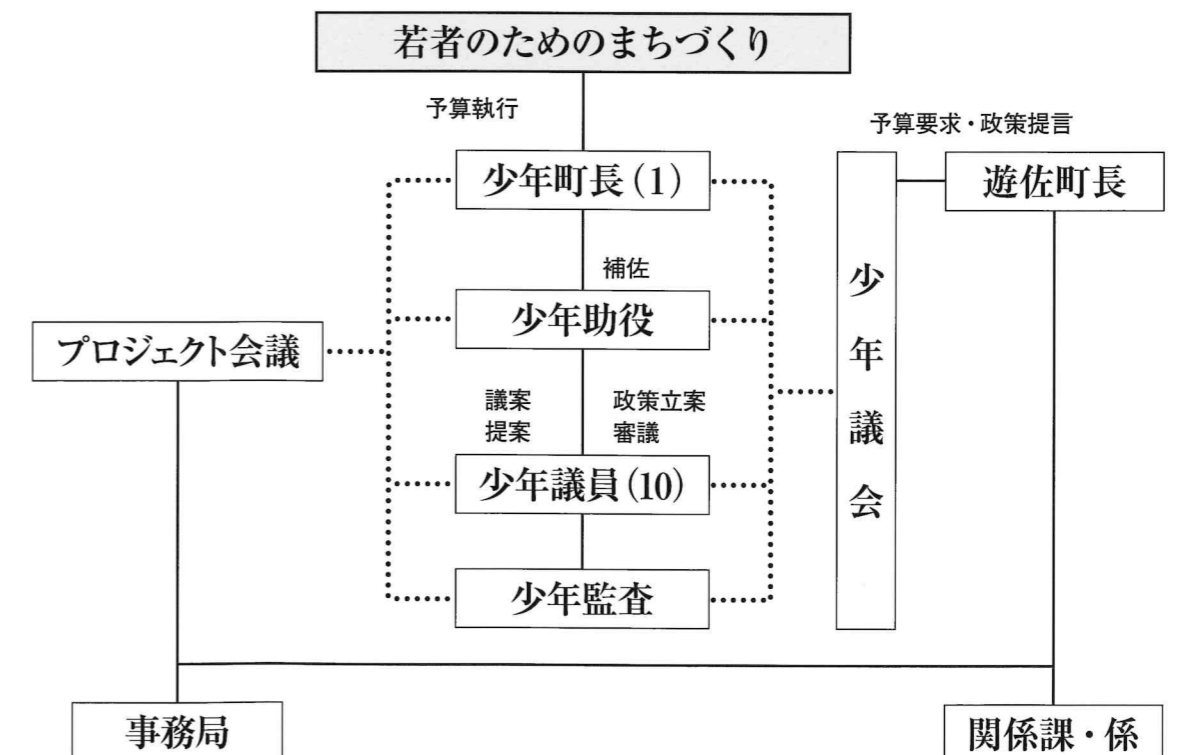
#### (4)予算

- 政策予算 全期間を通じて450,000円とする。但し、町への提言に伴う予算は、所轄課で予算化する。

#### ●各対象校説明日・投票日内容

対象高校	対象	学校訪問日	生徒説明日	参加人数	意見調査票受付日	受付日参加人数
酒田東高校	68	4月27日午後3時	5月12日	30	6月8日午後1時～	31
酒田西高校	72	4月27日午後4時	5月10日	43	6月7日午後1時～	46
酒田北高校	29	4月27日午後4時	5月10日	15	6月6日午後1時～	18
酒田商業高校	58	4月26日午後3時	5月9日	31	6月8日午後12時30分～	33
酒田工業高校	93	4月26日午後4時	5月10日	54	6月8日午後12時30分～	46
酒田中央高校	96	4月26日午前10時30分	5月11日	93	6月8日午後12時30分～	94
酒田南高校	40	4月27日午後1時30分	5月10日	30	6月6日午後12時20分～	32
天真学園高校	4	4月26日午後1時30分	5月10日	3	6月1日午後1時20分～	3
遊佐高校	132	4月27日午前11時	5月18日	98	6月9日 学校内各クラスにて実施	130
遊佐中学校	508	4月26日午後3時30分	5月11日	501	6月9日午後3時15分～	504
県立鶴岡養護学校 鳥海学園分教室	8	なし	電話にて担当 職員に説明			
管外高校	37	各学校を通して対象者にチラシ、広報、意見調査票を送付。意見受付期間6月5日（月）～6月11日（日）に、意見受付場所にて受付箱に投函してもらうこととした。				

### 遊佐町少年町長・少年議員公選事業構造図



Youth President's Election 2006 in YUZA

選ぼう  
討議しよう  
実現しよう

明日の遊佐町に  
ぼくたちはわたしたちは  
提案します



米〜ちゃん  
遊佐町イメージキャラクター

1 第4期少年町長と  
第4期少年議員の立候補者を募集します。

遊佐町では、中学生、高校生（遊佐町在住・在学）の中から「少年町長」と「少年議員」を直接選挙で選び少年議会を開催します。この人々は、全有権者（遊佐町に住む中学生、高校生と遊佐町に通学する高校生）の直接選挙で選ばれます。

立候補者受付期間 平成18年5月15日(月)～19日(金)

立候補用紙による届け出にて受け付けします。ふるって立候補ください。

公選で選ぶ人 (1)少年町長 1人 (2)少年議員10人

2 中学生、高校生が遊佐のまちづくりについて議論します。

少年町長と少年議員は、遊佐町の若者の代表として、遊佐町に様々な意見を届けてもらうとともに、自分たちで「中学生、高校生の政策」を議論し決めていきます。

議会・全員協議会の開催

少年町長と少年議員は、有権者の意見集約と町への政策提言のため、議会・全員協議会を開催します。

3 町では、中学生、高校生の政策を尊重し、  
その実現を図ります。

遊佐町では「中学生、高校生の政策」を尊重しその実現を図ります。少年町長と少年議員は、自分たちの決めた政策を実現します。

受付  
遊佐町役場  
総務企画課

第4期少年議会  
活動予定

- (1) 有権者の意見集約と町への政策提言 (6月～8月)
- (2) 2006北京国際学生キャンプへの参加 (希望者のみ8月6日～11日、開催地:中国北京)  
※自己負担があります。※定員を超えた場合、作文及び面接にて選考します。
- (3) 政策予算による自分たちの政策実現のための活動 (9月～12月)
- (4) 町内各種イベントへの参加 (6月～12月)

少年町長・少年議員立候補届

少年町長・少年議員 に立候補します。(○をつける)

氏名	
住所	
TEL ( )	
学校名	学年

以上のとおり立候補します

立候補の抱負

問い合わせ・連絡先

遊佐町少年町長・少年議員公選事業事務局  
遊佐町役場総務企画課企画係 (担当: 東海林和夫・奥山仁志・斎藤浩一・本間裕行)  
〒999-8301 遊佐町遊佐字舞鶴211 TEL.0234-72-3311  
(e-mail) youth@town.yuza.yamagata.jp

届け出は ▶ FAX.0234-72-3310

平成18年度は、立候補者が定員に満たなかったため、全員が当選、選挙は実施しませんでした。そこで従来、投票用紙に記載していただいた若者の町に対する意見を調査票を別途配布して記載・提出していただきました。

遊佐町少年議会

若者の意見調査票

遊佐町のこれからのまちづくりのために、中学生・高校生のみさんの意見をおよせください。少年町長・少年議員に、あなたの意見を届けましょう。

1 あなたは、これからの遊佐町がどんな町になってほしいと願っていますか。自由に記入ください。

2 あなたは、少年町長・少年議員にどんなことを実現してもらいたいと思いますか。自由に記入ください。

3 アンケート 当てはまる番号に○を記入ください。

(1) あなたはこれまでに少年町長・少年議員へ立候補したいと考えたことがありますか。

- ①ある
- ②ない

○「①ある」と回答した方にお伺いします。

立候補したいと考えた主な理由は何ですか。次の中から一つお選びください。

- ①まちづくりに参加したかったから。
- ②活動内容に興味があったから。
- ③時間に余裕があるから。
- ③その他 ( )

(2) 今年、立候補しなかった方にお伺いします。

あなたが今年立候補をしなかった主な理由は何ですか。次の中から一つお選びください。

- ①学業又はクラブ活動で時間がないから。
- ②選挙になるのが嫌だから。
- ③ご家族の方に反対されたから。
- ④活動内容がよくわからないから。
- ⑤その他 ( )

「意見」の協力、ありがとうございました。

Youth President's Election 2006 in YUZA

# 遊佐町 少年町長・少年議会広報

明日の遊佐町に  
ぼくたち わたしたちは  
提案します



米〜ちゃん  
遊佐町イメージキャラクター

## 第4期少年町長・少年議員決定

遊佐町では平成18年5月15日(月)から5月19日(金)まで、第4期少年町長・少年議員立候補者受付を行い、少年町長には1名、少年議員には6名の立候補がありました。その結果、少年町長は定員どおり、少年議員は定員に満たなかったため、立候補者全員の当選が確定しました。今後、少年議会は、遊佐町の若者の代表として活躍します。応援よろしくお願いします。

また、これからの少年議会の活動の源となるみなさんの遊佐町に対するご意見を、6月5日(月)から6月11日(日)まで受け付けます。学校にて配布される用紙に記入の上、役場総務企画課企画係までお寄せください。メール、ファクシミリでも受け付けます。

みなさんのご意見が、明日の遊佐町をつくります。多くのご意見をお待ちしています。



## 少年町長

県立遊佐高等学校3年 (地区●吹浦)

いけ だ か な  
**池田 加奈**

3期で行った活動を活かして4期では前以上に1つ1つの活動に力を入れて頑張りたいと思っています。特に遊佐ロックを成功させたいです。よろしくお願いします。

○遊佐町少年町長・少年議員公選事業事務局○遊佐町役場総務企画課企画係(担当/東海林和夫・奥山仁志・斎藤浩一・本間裕行)  
〒999-8301 遊佐町遊佐字舞鶴211 TEL.0234-72-3311  
専用URL <http://www.town.yuza.yamagata.jp/i> (iモード対応)  
e-mail [youth@town.yuza.yamagata.jp](mailto:youth@town.yuza.yamagata.jp)

## 遊佐町少年議員

市立酒田中央高等学校2年 (地区●吹浦)

たか はし もえ  
**高橋 萌**



私が少年議員に立候補したのは、周りからのすすめと、遊佐町を今以上に活気のある町にしたいという考えからでした。遊佐町の更なる発展に協力できるように頑張るので、よろしくお願いします。

県立酒田西高等学校2年 (地区●高瀬)

さ とう  
**佐藤このみ**



私は遊佐町を暮らしやすい町にしたいと思い、少年議員に立候補しました。高校生の視点で遊佐町をより良い町にしていきたいと思うのでよろしくお願いします。

市立酒田中央高等学校2年 (地区●遊佐)

さ とう り さ  
**佐藤 里沙**



2・3期をして学んだことを4期で活かして頑張りたいと思っています。今よりもっとすばらしい遊佐町にしていければと思います。今年もまたバス停へのベンチ設置を頑張りたいと思います。

県立遊佐高等学校3年 (地区●遊佐)

み うら なお と  
**三浦 由人**



街灯が少ないので安全面の事を考えても、その数を増やしたい。イベントなどを増やし、遊佐町を盛り上げていきたい。より良いまちづくりについて議論し、自分自身も成長したい。

県立遊佐高等学校1年 (地区●遊佐)

さい とう かず のり  
**齋藤 和紀**



私は、少年議員を務めて色々な企画や活動をとおり、自分を高めていきたいと思っています。よろしくお願いします。

町立遊佐中学校1年 (地区●遊佐)

しぶ や たけ つく  
**渋谷 健嗣**



遊佐町は、自然が豊かな町ですが、環境が少しずつ悪くなっていると思います。僕は、この遊佐の環境を守りたいと思っています。そして、この遊佐の未来をみなさんと作りあげていきたいと思っています。

# 有権者(中高生)の町への意見(抜粋)

若者の意見調査票に記載頂いた中から、具体的なものを中心に掲載します。

## 少年町長・少年議員への要望

- 積極的に活動をしてほしいです。
- 若者のリーダーとして、引っ張って行ってほしい。
- 私達の意見を町に届けてほしい。
- 遊佐町のことを考えて、より良い町にしてほしい。
- 私達の意見を聞いてほしい。もっと意見を取り入れてほしい。
- 若者らしい活動を期待しています。
- 私達の意見を政策に反映してほしい。
- 私達が参加できることをやってほしい。もっと若者と一緒に活動してほしい。
- 去年実現できなかったことをしてほしい。
- 学年も学校もちがうけど、協力しあって頑張してほしい。
- みんなが遊佐町に関心をもてるよう頑張してほしい。
- 遊佐町のことをもっと詳しく私達に教えてほしい。

## 安全で平和な遊佐町にしたい

- 中学校前スーパー農道の歩道に雪がたまるので除雪を徹底してほしい。
- 通学路が安全になるように街灯をつけてほしい。
- 菅野スワンパーク前にガードレールをつけてほしい。
- 杉沢地区に街灯がなく危ないので、解消してほしい。
- みんなが平和についてしっかり考える町にしてほしい。
- バス停にベンチを設置してほしい。
- カーブミラーをつけてほしい。

## 福祉の充実した遊佐町にしたい

- 子供からお年寄りまで、町民みんなにやさしい町にしてほしい。
- 公民館、駅、道路などをバリアフリーにしてほしい。
- 募金やボランティアを活発にしてほしい。
- ボランティアをやりたい。機会をつくってほしい。
- ボランティア活動が盛んな町にしてほしい。
- 少子化、高齢化社会対策をしっかりしてほしい。
- 遊佐町の福祉について、もっと紹介してほしい。対策をきちんと教えてほしい。

## 自然があふれきれいな遊佐町にしたい

- 鳥海山、海、川をきれいなまま将来に残して行ってほしい。
- 自然は遊佐町の宝。失ってしまわないようしっかり守ってほしい。
- 人、自然が調和して生活できる町にしてほしい。どうすればよいか、自分も考えていきたい。
- 町を花でいっぱいにしてほしい。
- 清掃ボランティアをしたい。もっと参加できる形にしてほしい。
- 自然について考える機会を増やしてほしい。そんなイベントもあったらいいと思います。

## 活気があって人がたくさん集まる遊佐町にしたい

- 若者が楽しめるイベントを企画してほしい。
- 遊佐ロック、今年もやってください！
- いろんな年代の人が交流できる機会、場所を作ってほしい。
- 遊佐町のPRがまいちかも。もっと外にPRしてほしい。町内の人も自分の住む町に興味を持つようになったらいいと思う。ツーデーマーチをもっと活かしてほしい。
- 町民体育館をもっと活かして、スポーツが盛んな町にしてほしい。
- 遊佐町のことについて、少年議会のようにもっと話し合える場所を作ってどうか。
- 就職先がもっとほしい。若者が遊佐町に残るよう取り組んでほしい。

## 施設が充実した遊佐町にしたい

- 気軽に使えるプールは作ってほしい。
- もっとうまくバスを活用できないでしょうか？
- 通学時、帰宅時の電車の車両、本数を増やしてほしい。
- もっと買い物がしやすい環境をつくってほしい。
- 都市化しつつ、伝統、自然が調和した町にしてほしい。
- ショッピングモールを作ってほしい。コンビニを増やしてほしい。
- 中心商店街がさみしい。もっと賑やかにしてほしい。
- 町の中心に、みんながゆっくりできる公園をつくってほしい。
- スポーツができる施設を増やしてほしい。
- 駅をきれいにしてほしい。新しくつくってほしい。
- 施設を作るときは町民に意見を聞いてほしい。若者の意見も取り入れてほしい。

## あいさつあふれる明るい遊佐町にしたい

- あいさつは絶対大事。まずはみんなの心から明るくなりましょう。
- コミュニケーションを大事にする町。人の心の温かさが遊佐町の魅力だと思う。
- あいさつ運動を活発化してほしい。
- 町民みんなが、お互いを支えあう町にしたい。
- 心の豊かな町、誰にでもオープンに接する町民なら観光客も満足してくれると思う。

## 国際交流をさかんにしてほしい

- 遊佐町をもっと世界に発信してほしい。
- 派遣団員の人数をもっと増やしてほしい。ぜったい人生にプラスになるから！
- 遊佐町の実際の生活を体験してもらう国際交流の仕方はないでしょうか。

## その他、遊佐町に一言

- 合併反対。伝統、町民の活動など遊佐町らしさは残していくべき。
- 合併しないで財政的に大丈夫なのか不安。説明してほしい。
- 少年議会だけでなく、若者誰でも参加しやすい、町からのいろいろな政策について説明してもらえる機会を作してほしい。

# 少年議会議 政策 提言

# 1

## 【有権者が望む政策・私の政策】

平成18年8月26日(土)  
第2回少年議会議

少年町長

### 池田 加奈



私は少年町長の池田加奈です。

私は「活気があって、人がたくさん集まる町」についてと「市町村合併について」の2つの分野の意見をまとめました。

まず「活気があって、人がたくさん集まる町」にするための有権者からの意見には「遊べる場所がほしい」という意見や「イベントを沢山してほしい」という意見が多いようでした。その中でもイベントの開催なら、議会でもできるのではないかと考えました。今まで行ってきた音楽イベントの他にも、例えばスポーツをしたり、料理などをして活気を集める他にも幅広い年代での交流もでき、一石二鳥だと思います。

遊佐町に人を集めるためには遊佐町のPRが大切だと思います。PR方法として、遊佐町のポスター作成や遊佐町のHP作成・少年議会議のHP作成などを考えました。このような事を行う事によって町民や観光客のみなさんに遊佐町の事を知ってもらう事で

遊佐町を訪れる人が増えるのではないかと思います。

次に、「市町村合併について」です。

有権者の意見が、賛成意見4票、反対意見4票と半々に分かれていました。賛成側の理由は遊佐町のままで町の将来や財政関係が心配という意見がありました。反対側の理由は今までの遊佐町の伝統が失われるという意見や、遊佐という名前を無くしたくないなどの意見がありました。このように遊佐町に住む町民のみなさんには、合併についての意見がそれぞれあると思いますが、私の意見としては、合併に反対です。確かに遊佐町だけの力ではできない事があるかもしれませんが、それでも今まで遊佐町は遊佐町らしさを保ち、温かい町民、豊かな自然、古くから続いている伝統…この遊佐町には数えきれないほどたくさんの素晴らしいものがあります。それをずっと遊佐町の手で守っていく事に意味があると思います。以上が私の反対する理由です。

最後に、私が今年の政策予算で実現させたい事は、昨年同様、遊佐ロックの成功のために使用できたらと考えています。昨年よりも準備期間を長く取り、呼び込みの力を入れ成功と言えるイベントを開催したいです。

もう一つが、ふるさとCM大賞への参加です。遊佐町を他の市町村にPRできる良い機会だと思います。昨年とはまたイメージの違うCMで参加してみたいです。

今年度は、今まで以上に内容の濃い活動にしていきたいと思っています。一生懸命頑張りますので、短い間ですがよろしくお願ひします。

少年議会議副議長

### 齋藤 和紀



私は少年議会議の齋藤和紀です。僕は、遊佐町の安全、平和についての意見をまとめました。若者の意見調査と意見を集約したものを見て、街灯の設置、バリアフリー、除雪の三つが大事だと思いました。

最初に、意見調査が一番多かった街灯の設置について考えたいと思います。小中高生は徒歩や自転車で帰る人が多いので、暗くなった時に街灯がないと危ないようです。僕も、街灯がない道路を帰るので暗いと危ない、怖いと思うことがあります。それで僕は街灯の設置は危険防止、事故防止のために必要で、車に乗れない小中高生やお年寄りのためになると思いました。意見調査を見ると、かなり多くの人が街灯の設置と書いていたので、今すぐに欲しい物だと思います。場所は、大橋の道路、西山の道路、舞台の道路などが挙げりましたが、他にもたくさんあると思います。あとは、街灯

の色をカラフルなものに変え子ども達を安全に登下校させたり、夜見えるようにするという意見もありました。

次にバリアフリーにするという意見です。これは2番の福祉にもかぶってしまうかもしれませんが、老年人口の多い遊佐町なので、お年寄りや障害者の事故防止、危険防止のために必要な事だと思い安全の項にも入れさせていただきました。具体的な意見として、点字道路を遊佐病院の通りにつける、道路の舗装スロープを遊佐駅と吹浦駅につけるというのがありました。僕は、中央公民館と町民体育館の階段が急なのもう少し緩やかな階段にした方がいいと思います。点字道路をつけるのは、お年寄りのためにもなるし、盲目者の役に立ちその人達の事故を減らせると思います。道路の舗装は、道路がでこぼこだったり穴が空いていると、車イスの人やお年寄り、盲目者に迷惑だしつまづいて転んでケガをする可能性があるため、転倒しないようにするために必要だと思います。お年寄りが増えているのでどれも早く必要だと思いました。道路の舗装以外の場所はどれも具体的なのでその場所を早くおとした方がいいと思いました。

最後に、除雪をちゃんとした方がいいという意見と、防風柵、防雪柵を設置するという意見です。除雪をちゃんとしてもらわないと歩きにくく危険というのがありました。僕も去年、冬の間徒歩で学校に通っていて歩道の除雪がされておらず、車道を歩かなければならなくなって車が良く通るスーパー農道だったので危険でした。防風柵、防雪柵がないと吹雪で見えなくなり、車の事故がよくおこっていました。中学校へ行く道路がよく見えなくなり危険でした。除雪をすることで、歩行者の転倒事故・交通事故の防止ができるし、冬に歩行者や車を運転する人のために必要だと思っています。これをする小中高生が安全に登下校が行えるし、歩行者も安心して歩くことができます。去年は、対処が遅れ気味だったので雪が積もったら早めに対処した方がいいです。これで政策発表を終わります。

少年議員

### 佐藤 このみ



わたしは、少年議員の佐藤このみです。まず初めに、「あいさつあふれる明るい町」について、政策を提案したいと思います。

まず、有権者の意見を見ていきたいです。有権者の意見で目立ったのは、「あいさつ運動」と「あいさつの看板設置」でした。

私は、この二つの意見がとても良いと感じました。あいさつは、人と人とのコミュニケーションの第一歩です。あいさつで、人間同士の交流が始まります。このように、あいさつというのはとても大切です。それを積極的に広めようとする先の二つの意見は、どんどん実践していきたいと感じました。あいさつによって町民同士の交流が広がれば、人と人との繋がりもでき、きっと明るくてすばらしい町になると思います。

よって私は、「あいさつ運動」と「あいさつの看板設置」を政策に取り入れたいと思います。「あいさつ運動」はツデーマーチなどの町民が多く集まる行事の場で、少年町長、少年議員全員で積極的に行い、町民の人達にあいさつを広めるだけでなく、自分たちもあいさつを広めるだけでなく、自分達もあいさつを使って、町に人々と交流したいです。「あいさつの看板」は、人目によくつくような駅や中央公民館などの公的施設や町の要所要所に設置したいと考えています。町民の目を引きつけて、あいさつを意識してもらうために、少年議会議で色々な工夫をして特徴のある看板にしたいです。

この政策で、町民全体のあいさつへの意識を高め、人と人との交流を深め、あいさつあふれる明るい町を目指していきたいです。

次に、私達高校生が毎日使う電車について提案します。

上りの七時の電車と下りの五時と六時の電車は、高校生が多く利用します。しかし、車両が二両しかなく、必ず立っている人がいます。部活などで疲れているのに、立って揺れに耐えることはとてもきついことです。

また私の場合、部活のない日は、電車の時間まで、二時間近く待たなくてははいけません。そのため、部活をしていない人や、



部活が休みの日が多い人などは、三時の電車と五時の電車の間に、もう一本四時の電車を求めているのです。私の友達でも四時の電車を求めている人がたくさんいます。

これらの二つの電車の問題は、高校生の目線から出てきた悩みです。だから、高校生が多く乗る電車の車両を増やしてほしいということを町の方でJRの方に要請してほしいのです。よろしくお願いします。

少年議員

## 高橋 萌



私は少年議員の高橋萌です。

私は「国際交流の盛んな町」についての政策をまとめました。

遊佐町の有権者からの意見を、私は3つに絞ってみました。

まず1つ目の意見は、「交換ホームステイをする」という意見です。「交換ホームステイ」は、遊佐町の人達にとっても、相手の国の人達にとっても、コミュニケーション能力の向上などの効果があると思います。また、「交換ホームステイ」をすることによって、お互いの国の文化や歴史を学び、遊佐町の人達（特に有権者）に国際的な視野を持ってもらうことが出来るのではないかと考えました。

2つ目の意見は、「イギリス・ハンガリーの派遣団員数を増やす」という意見です。私は実際昨年度、ハンガリーに派遣団員として行ってきました。その経験は私にたくさんの新しい発見と、良い意味での影響を与えてくれました。そして将来の選

択肢が広がりました。今まで派遣団員として海外に行った人達の中にも、この派遣事業をきっかけに海外に興味を持った人はたくさんいると思います。しかし現在は派遣事業に参加したいと希望した中学生の約半分が抽選によって落とされるという状況です。私は、遊佐町を「国際交流の盛んな町」にしたいという思いと、もっと多くの中学生に海外に興味を持ってほしいという考えから、「イギリス・ハンガリーの派遣団員数を増やす」という意見は尊重すべきだと思いました。

最後の3つ目の意見は、「遊佐町の良さ（自然の豊かさや、米・水などのおいしさ）を海外の人達や遊佐町に住む外国人に知ってもらい、交流をする」という意見です。このような交流をすることによって、日本人だけでなく外国の人達が遊佐町に目を向けてくれるのではないかと私は思いました。例えば遊佐町の郷土料理と一緒に作ったり、田植えや稲刈りを実際体験してもらい、などの企画を立て、その企画に参加してもらうことで交流を深めてもらえたらいいなと思います。遊佐町には、他の国や市町村にはない良いところがたくさんあります。私達にはあたり前のことでも、違う国の人目から見たらすごくうらやましいことであったり、望んでも手に入らないものであったりもします。そういった、「自分達が気付いていない遊佐町の良さ」を私は見つけていきたいと思っています。そしてその「遊佐町の良さ」を、私から少年議会へ、少年議会から遊佐町へ、遊佐町から世界へ広げていき、最終目標である「国際交流の盛んな町」に続けていきたいと思っています。

少年議会議長

## 佐藤 里沙



私は少年議員の佐藤里沙です。

まず初めに有権者の意見を発表します。私が担当したのは「施設が充実した町」です。一番多かった意見は「遊佐町にコンビニを作って欲しい」でした。確かに、遊佐にはコンビニが少ないと思います。とくに西遊佐や高瀬に欲しいという意見が多かったです。

コンビニがあったら24時間営業なので、町民にとってもとても便利だと思います。

他には「吹浦にバスケコートを作って欲しい」や「ゲームセンターを作って欲しい」などがありました。

中でも一番うれしかった意見は、「少年議会の店をまたやって欲しい」でした。第二期の時にやった「カフェ・ラ・オートム」は小学生のお客様がとても多く、土日だけでしたが毎週楽しくやることができました。

少年議会の店をやったら、議会をしてもらうこともできるし、町民と交流することもできると思います。もし第四期でもするとしたら、駅前のわかりやすい所にしたいと思います。

次に私の意見を発表します。

まず一つ目は昨年に行ったベンチ設置です。去年は役場の前一箇所しか設置することができませんでした。だから今回はもっとたくさんの場所にベンチを設置したいです。たとえば、遊佐中央公民館の前などには体育館で部活をしていた中学生がバスを待っています。

遊佐町ではあまりバスを利用する人はいませんが、ベンチを設置することでお年寄りに優しい遊佐町に変われると思います。

二つ目に遊佐町のプールについてです。遊佐町には町民が利用できるプールがありません。ですが、プールが欲しいという声も沢山あります。そこで私が考えたのですが、夏休み中に小学校のプールを一般開放したらいいと思います。そうすれば町民がわざわざ町外のプールに行く必要もなくなると思います。

第四期の議会では2006北京国際学生キャンプなどに参加したり、とても貴重な体験ができました。外国人の友達もできたり、これも少年議会があったおかげです。これからも少年議会を続けていって欲しいと思いました。アンケートをとった時も少年議会をやりたいと思った人も思った以上にいたので、もっと沢山の中高生が立候補してくれたら良いと思います。

少年議員

## 三浦 由人



私は少年議員の三浦由人です。私は遊佐町が、自然があふれるきれいな町になることを大目標に、遊佐町が今よりも自然が増え、ゴミが今よりもなくなる事を目指しています。

その為に町と議会が協力し、役場や各学校、老人ホームなどの公的施設に花を植えます。そうすることで、遊佐町が彩り豊かになり、遊佐町に住む人、遊佐町を訪れる人に気持ち良く過ごしてもらえ、町のイメージアップにつながります。色とりどりの花を見て気分を害する人は、まずいないと思います。それに、二酸化炭素を削減できるだけでなく、未来に自然を残しておくことは、とても大事な事です。もし自分に子供ができたら、何もない殺風景な遊佐町よりも、自然があふれ、息をするだけで気持ち良くなれる遊佐町で成長してほしいと思うはずです。

また、公園や海岸などのゴミの出やすい所にゴミ箱を設置します。そうすることで、ポイ捨てが無くなり、遊佐町がキレイになるだけでなく、遊佐町に住む人がポイ捨てに対する意識が高まると思います。それに議会ですべて、海岸のゴミ拾いを実施し、遊佐町から徹底的にゴミを無くします。ゴミ箱の設置と、ゴミ拾いの政策を実施することで、遊佐町の見え、空気がキレイになるだけでなく、遊佐町に住む人の心もキレイになり、遊佐町全体がキレイになります。

そして、花を植え自然を増やす政策と、ゴミ箱の設置、ゴミ拾いでゴミをなくす政策で、遊佐町が自然があふれるきれいな町になる大目標を実現させます。

また、もう一つの大目標である福祉の充実した町については、お年寄りの安全と健康を目標に、お年寄りが元気に過ごしてもらえることを目指します。

その為に昔遊び教室と郷土料理教室を行います。町内のお年寄りから昔の遊びや、郷土料理を教えてください方を募集し、保育園、各小学校、中学校、各高等学校などに呼びかけ参加者を集め、図書館、公民館を利用して昔遊び教室と、郷土料理を施します。そうすることで、お年寄りとお孫さんが親睦が図れると共に、普段家の中で遊ぶ事が多い子供に、昔の遊びを体験して、外で遊ぶきっかけになるはず。それにお年寄りから、子供に遊びや料理を伝える事は素晴らしいと思います。

また、議会で身近なお年寄りに歩きにくい所などを聞き、高齢者や身障者の安全の為、町内のバリアフリーを目指します。そうすることで、高齢者の事故防止につながります。

さらに、町と少年議会が協力し、高齢者用のグッズを売る店を作ります。高齢者の自立心を高めるため、町内の病院の近くに作り、高齢者に合った商品を販売していきます。そうすることで、お年寄りが一人暮らしになっても、安全に暮らしていける手助けになるはず。

そして、この政策を実施して、福祉の充実した町を実現させます。また、自然があふれきれいな町を実現させて、お年寄りにも遊佐の自然を満喫してもらいます。そして、子供からお年寄りまで元気に過ごせる町作りを目指します。

これらを少年議会の政策とし、頑張っていきますので町の方でも協力をお願いします。

少年議員

## 渋谷 健嗣



私は少年議員の渋谷健嗣です。私が出す自然環境についての案は、「ゴミ箱を設置する」という案です。このゴミ箱を設置するという案は、前から私も思っていた考えでした。なぜそう思っていたかという、沢山の人が使う公共の場所にゴミが落ちていることが多いから。そして、少年議員に入り、この案が出たので、ぜひ生かそうと思い、この案を選出しました。

なぜ、この意見が必要なのかという、それはゴミが落ちている一番の原因「ポイ捨て」をなくすためです。ゴミは空から降ってくるわけでもありませんし、一人で歩いてくるわけでもありません。ですから、必ずポイ捨てをしている人がいるということです。そこで今あるゴミ箱の数を更に増やし、今置かれていない公共の場や、よく人が通る道に設置すれば、ポイ捨てを改善できると思います。

そして、この案は誰のために必要なのかという、遊佐町の住民や、遊佐に観光に来る人のためです。遊佐に住んでいる人は、ゴミがあると、汚いなあと思うでしょうし、遊佐に観光に来る人にとっても、ゴミが多いなあと思って、評判が悪くなってしまおうでしょう。今まであげた、ポイ捨てと汚いイメージがつくの二つをそのままにしておいてしまうと、評判が悪くなるだけではなく、遊佐自体の美しさもなくなってしまおうでしょう。しかし、こと「ゴミ箱を設置する」という案を使えば、ポイ捨てをする人が少なくなるし、遊佐町は、キレイなんだなというイメージアップにもなります。このイメージをもっと良くするには、ポスターを作ったり、町内に放送したりすることです。もっと詳しくすると、ポスターの内容は、「ここにゴミ箱を置きました」という風書き、地図で場所を説明したりすると思います。それから、町内放送ではポイ捨てに対する注意や、ポスターを見なかった人のために設置した所を説明したりすると、もっとよくなると思います。さらに、

遊佐町に毎月配られる遊佐広報などにゴミ箱の設置した場所の地図を記入すれば遊佐町民全員に分かるはず。それから遊佐に観光に来る人には、観光名所や宿などに置くといいと思います。後は、私達少年議員が小、中、高の学校で呼びかけや、チラシ配りなどをすれば、ポイ捨てをする人が、さらに激減すると思います。こうやって、アンケートから出た案だけでなく、自分が思いついたアイデアを取り入れることで、具体的になったと思います。

私が思いついた、ポスター作成や、町内放送は、そんなに簡単に出来るものではありません。しかし、これを実現することが出来れば、もっといい遊佐町になると思います。私は、この案を実現出来るなら、なるべく早く実現して、町からも私達の考えた政策を取り入れてほしいと思います。よろしくお願いたします。

少年町長

## 池田 加奈



少年町長の池田加奈です。

私が第4期少年町長を務めた約半年間は、とても短く感じられました。

まずは、少年議会を支えてくださった役場を始めとした沢山の方々、6名の少年議会の仲間達、そして、遊佐町の住民の皆様へ感謝申し上げます。

2年目であるこの少年議会の活動を通し、私は1年目とはまた違った事を学びました。そのため、私の考えにも多少変化が現れました。第3期での反省を生かし一つ一つの活動に取り組み、それぞれ成長を見せる事ができたと思っています。

例えば町を活気づけるために行った「遊佐ロック」では、昨年よりも出演者、お客様の数も増え、進歩が目に見え、私としては今年の遊佐ロックは成功したと思います。音楽を通し、様々な人と出会えた事も良い思い出の一つです。

もう一つは、「ふるさとCM大賞」への参加です。昨年の悔しさをバネに今年はユニークさを出した作品を企画しました。残念ながら入賞する事はできませんでしたが、少しでも他の市町村のみなさんに遊佐町の良い所を知ってもらい良いきっかけになってくれればと思います。

他にも、今期少年議会では、新たな活動にも積極的に取り組みました。

まず、遊佐町を誰でも仲良くお互いに支えあう町にしようという事で「昔遊び・郷土料理教室」を開催しました。初めての企画という事もあり、参加者は少なく、成功とは言い難い結果ではありましたが、参加してくれた一人のおじいさんにとってもあたたかい言葉をいただきました。「初めてなんだから失敗はしょうがない。いつかこの失敗を生かして成功すれば良いんだから」。その時私は大切な「やる事に意味がある」という事を気付かされました。

もう一つは、「あいさつ運動」です。遊佐地区にある全小学校5・6年生から標語を募り、その中から3つを選び、その標語を使い看板を作成し、その看板を立てあいさつ運動をしました。笑顔で「こんにちは」とあいさつし返して下さったり、「ご苦労様」と声をかけてくださる方もいました。そんな心あたたかい遊佐町にもっともっとあいさつが響けば良いと思いました。

このようなさまざまな経験をして私は、コミュニケーションの大切さや遊佐町の素晴らしさを学びました。この一年間、「少年数でも濃い半年にする!!遊佐町を熱い町に!!」と、自分に言い聞かせて活動してきた私は、少しずつではありますが、自分自身の視野を広げたり、人をまとめたりする事で成長する事ができたと思います。これからもこの経験を大切に、大好きな遊佐町に貢献していければと思います。

次に、第5期少年議会に伝えたい事は、今しかできないこの貴重な体験が、一つ一つ大切な自分の財産になるという事を胸に刻んで、取り組んでほしいと思います。そして個性あふれる発想で遊佐町を動かしてほしいと思います。他にも、今期少年議会で提案したもので時期や時間が合わなく、来期に託す事になったものを実現してもらいたいです。沢山の素晴らしい体験を通し、もっともっと遊佐町を好きになってもらいたいと強く思います。

最後に、遊佐町に提言したい事は、若者が輝けるイベントなどを増やしてもらいたいと思います。これからの未来を担う若者が自分の意見を持ちそれぞれ自分を表現できる場は積極的に取り込んだ方が、遊佐町のこれからの繋がっていくのではないかと思います。私はもう、少年議会に参加する事ができませんが、何らかの形で遊佐町に関わり、自分の中にある遊佐町への熱い思いをずっと胸に持ち続けていきたいと思っています。

半年間お世話になりました。

少年議会副議長

## 齋藤 和紀



僕は少年議員の齋藤和紀です。僕が少年議会の活動を振り返って思ったことは、とにかく忙しかったです。一週間ごとに議会があり、遊佐ロックがあり、ぼんがあたりと、目まぐるしかったです。それでもとても楽しかったです。例えば、遊佐ロックでは、僕がインタビュアーを務めさせて頂きました。それぞれのバンドの人に人前でインタビューをするのはとても恥ずかしかったです。しかし、それはそれで緊張感があって、なかなかやりがいがありました。ライブなどでインタビューをしている人は、全員こんな気持ちなのかなと思いました。

他に印象に残っているのは、鹿の角切りです。当日は天候が悪く、手がかじかみ鹿の角を切るのはとても大変でした。鹿から暴れられてのこぎりを折られた時は腹が立ちました。それでも角をちゃんと一本ずつ切れたのでとても良かったです。

これらの活動を通して、僕は人前に出ても上がらなくなりました。中学校の頃は、教室内でしゃべるだけでも上がってしまいよく言葉がつまり、おもしろい人間でした。しかし、今では学校で何か発表がある時でも、何の抵抗もなくしゃべれるようになりました。

少年議会の僕がやっていて感じたことは、提言したことが全部企画となって反映されていることがとても良かったと思います。僕が提言した、公共施設のバリアフリー化、除雪活動の強化、防風柵、防雪柵の設置が要望書として提出されるので、とてもうれしく思います。

他に少年議会をやって感じたことは、町の人との距離が縮まったように思います。何かイベントがあると、町の人に応援されたり、ここをこうした方が良いとかアドバイスをもらったりと、話したことの無い初対面の人と話す機会が多くなりました。少年議会もマスコミの人が入って、有名になっていっていると思いました。

これまでの事を通して、僕は人前に出るのも怖くなくなり、初対面の人とも話せるようになって、人として一回り大きく成長できました。

僕が、第5期少年議会に伝えたいことは、先ほど言ったことと矛盾していますが、提言した事を全部やろうとしないで一人一つぐらいにしぼってやった方が良いと思います。全部やってもらうのはとても良いことだと思います。しかし、今年は何もかもやろうとして、企画の日程が後半に寄ってしまったり、内容が薄い企画が多くなってしまったと思います。例えば、昔遊び・郷土料理教室です。遊び方や料理を教えてくれる先生が少なかったり、遊びや料理のバリエーションが少なく来てもらった人がっかりさせてしまったと思います。応募人数が少なくがらんとしている中でやって、にぎわいが無くおもしろくなくなりました。今回の反省をふまえ、一ヶ月ぐらい前から先生に声をかけておき、周辺の小学校や幼稚園にも呼びかけておいたほうが良いと思います。チラシの配布も二週間前ぐらいまで終わらせておくのが一番人が集まると思いました。

今回僕達が出来なかったことを来期に託したいと思います。それは、健康管理センターのシャッターに絵を描くことを来期にやってもらいたいと思います。今年はずっと町から逆提案を頂いたのに、日程の都合が悪くそれを無駄にすることになってしまいました。それと町民花を決定することです。若者が選ぶ町民花は決定されました。しかし、本当の町民花は決まっておりません。若者が選んだ町民花を参考にし、来年度はぜひ本当の町民花を決定して頂きたいです。

僕は来年、少年町長に立候補するつもりです。そして、僕が町長になったら遊佐ロックとCM大賞のCM作りに力を入れ活動したいです。遊佐ロックは言うまでもなく若者らしさを示すために重要なイベントだと思います。それと遊佐ロックは第一期少年議会からの伝統的なイベントなので、ここで伝統を潰すのは良くないと思うところがあるからです。CM大賞はただ単に、僕が主役の様な位置を取って目立てたからです。来年も少年議会をベースとしたCMを作ってもらいたいです。それで僕を主役として作ったCMを作ってもらいたいです。それで僕を主役として作ったCMで大賞を取り、遊佐町に少年議会、齋藤和紀ありと、東北六県にその存在をしらしめてやりたいです。

最後に遊佐町行政に頼みたいことがあります。今回は、要望書を書くという初の試みをしました。私達で現地に出向き、どこ

にベンチ、防犯灯、防雪柵の設置をするか、現地調査をして参りました。私達なりに検討した結果を要望書に書きました。この結果を町の方でも検討して頂き、結論を貰いたいと思います。結論を少年議会でも話し合う、という感じで町とも連携をとって、少年議会という独立した物にするのではなく、町の一つの機関というようなものに僕はしたいと思っています。

少年議員

## 佐藤 このみ



私は少年議員の佐藤このみです。最初に、少年議会の活動を振り返っての感想を述べたいと思います。学校の後、疲れながらも行く少年議会は思ったよりとても大変でした。しかし活動が終わった今、少年議会に参加して良かったと実感しています。

なぜならば、少年議会の活動が楽しかったからです。北京国際学生キャンプで国境を越えて様々な人と交流し、アジアの文化に触れたこと、遊佐ロックで自分達でがんばって企画し運営したこと、あいさつ運動で地域の人々とあいさつを通して交流したこと。一つ一つ振り返ってみると大変なことも多かったです。しかし結果的に、楽しいことばかりでした。自分が一生懸命したこと相手に応えてくれるというのが楽しさの源だった気がします。

また、たくさんの人と出会うことができました。議員のみんなや活動を通じて知り合った人々との出会いを、本当にありがたく感じます。人と出会い関わることで、自分の刺激にもなり学ぶこともたくさんありました。そのような私は幸せだと思うし、これらの出会いは私の財産だと強く感じています。

そして一番大きいのは、色々な活動をして、色々な経験をしたことです。楽しかった経験、うれしかった経験、苦労した経験、がんばった経験、すべてが私の一部になりました。それから、自分の未熟さにも大変気づかされました。しかし同時に、様々な小さな目標を見つけることができました。何においてもまず行動に移してみる、積極的に発言すること。これからが勝負どころです。少年議会に参加し、経験したことを通して、学んで見つけた目標を生活の中で果たしていきたいです。少年議会ですべての経験が無駄にならないようにしていきたいです。

次に第五期少年町長・少年議会へ伝えたいことを述べたいと思います。まず、私達が実現できなかった、少年議会のホームページと遊佐町の町民歌と健康管理センターのシャッターの壁絵についてお願いしたいと思います。少年議会のホームページは、もっと私達と同じ世代の中学生、高校生が少年議会に興味を持ってくれるように、楽しい内容のものを作ってください。遊佐町の町民歌は子供からお年寄りまで町民がみんな楽しく歌えるような歌をお願いします。健康管理センターのシャッターの壁絵は、自分達が町民に伝えたいことをおもしろい絵に描いて明るい町にしてください。また、少年議会ではやりたいことをどんどん発言して、遊佐町を盛り上げて自分の議員生活を有意義なものにしてください。

最後に、遊佐町への提言を述べます。少年議会で様々なところに行って感じたことは、遊佐という町はすばらしいということです。中国などでその土地のすばらしさを知るとともに、遊佐町の自然や文化のすばらしさを再確認できました。だからこの自然や文化をずっと守り続け、町民の皆さんが触れる機会を増やしてほしいと思いました。次の世代に継承していくために、行政が活動をしっかりバックアップしていかなければならないと思います。次に前回提案した、JRの増便と車両を増やしてほしいという件はどのようにしていただけたでしょうか。良いお返事お待ちしております。

この半年間、本当に良い経験をさせていただきました。お世話になった皆さん、今までどうもありがとうございました。これからも遊佐町を愛し、遊佐町に恩返ししていきたいです。

少年議員

## 高橋 萌



私は少年議員の高橋萌です。

私は第4期少年議会の活動を通して、たくさんのことを学ぶことができたと思います。特に、音楽イベント「遊佐ROCK」の開催と、バリアフリー及び防雪柵設置の要望書の作成は、遊佐町の現状を知ることが出来たいい機会でした。

「遊佐ROCK」では、例年より多くの観客と出演者に参加してもらい、成功を収めることができました。また、その時実施したアンケートから遊佐町民の意見を聞くこともできました。

バリアフリー及び防雪柵設置の要望書の作成では、実際現場に行って自分自身の目で現状を確かめてきました。そうすることによって、高齢者にとって駅の階段が急で、大きな負担になっていることや、中高生の通学路が冬になると雪のせいで危険になってしま

うことなどを知りました。高齢者や中高生の目線に立つことで、より具体的な内容の要望書を作成することが出来たと思います。ただ、第4期少年議会ではこの要望を実現することが出来なかったため、第5期少年議会では是非実現してもらいたいです。また、少年議会のHPや町民歌なども、第5期少年議会でも取り組んでほしいです。

私が任期を終えて思ったことは、もっと早い段階から積極的に政策に取り組むべきだということでした。議員になってすぐの頃は、不慣れな部分もあり、なかなか上手く政策に取り組めない点もありますが、初期の段階からどんどん政策を進めていかないと今期のように10月~12月にかけてとても忙しくなってしまうので、第5期少年議会ではその部分を改善してほしいと思います。

「少年議員」という遊佐町でしか経験することの出来ないことを自分が実際体験してみて、物事に対する見方や考え方が大きく変わりました。それに今までは何かに疑問や矛盾を感じても、発言する場がなく、結局曖昧な感じになってしまっていたのに対して、少年議員になってからは議会のメンバーと話し合いをしたり、自分の意見を伝えることが出来るようになったので、本当にいい機会を与えてもらったと思います。

私は少年議員の活動を通して、遊佐町の良いところ・悪いところを見てきました。遊佐町の良いところは、自然が豊かである点と国際交流が盛んな点だと私は思います。このことは遊佐町民なら誰でも知っていることです。しかし遊佐町以外の市町村の人達には自然豊かだということは知られていても国際交流が盛んなことは案外知られていないようでした。せっかく国際交流を行っているのだから、私はもっとその部分をアピールするべきだと思います。そうすることで日本だけでなく、海外の人達にも遊佐町の良さを伝えることが出来ると思います。遊佐町の悪いところについては、やはり高齢者に様々な面で負担がかかってしまっている点だと思います。子供から高齢者の人達全員が安全に、そして安心して暮らせる町にするために、アンケートをとったりして、遊佐町民の声をもっと近くで聞くべきだと私は思います。

少年議員として活動した期間は短かったですが、私はその短い期間は本当に貴重なものだったと思います。学校が終わった後集まって、遅くまで話し合いをしたりしたことは大変でしたが、自分にとってもいい変化を与えてくれました。少年議員になって考え方の幅を広げることが出来たと思います。少年議会は若者が意見を発言することが出来る貴重な場だと思うので、これからもずっと続けてほしいと思います。

半年間、たくさんの方々に協力してもらい、本当にありがとうございました。とても良い経験をさせていただいたと思います。私は少年議員になって良かったです。

少年議会議長

## 佐藤 里沙

少年議員の佐藤里沙です。

私が第四期少年議会の活動を振り返るととても印象に残っていることは「2006北京国際学生キャンプ」に参加したことです。



北京ではあたり前のことながら日本語が通じなく、上手にコミュニケーションをとるのが大変でしたが、燕さんのおかげで少しだけですが話すこともできました。すごく短い一週間でしたが、北京の良いところを学べたし、おいしい料理も食べることができたので本当に行けてよかったです。

遊佐ROCKでは、五つのバンド三つのダンスチームが出演してくださいました。私が少年議員を始めてから一番盛り上がった遊佐ROCKになったと思います。出演して下さった人からも「楽しかった」などと言っただけ、私の中では大成功だったと思っています。来年の第五期少年議会の人達にもぜひ遊佐ROCKは続けていって欲しいと思います。

次にあいさつ標語募集・看板作製・街頭運動についてです。標語募集では、遊佐町各小学校の五・六年生にお願いしました。回収箱に入れてもらうやり方だったので沢山集まるか不安な部分もありました。ですが思っていたより応募があったので本当によかったです。看板作製では、細かい作業でとても大変でした。字のバランスをとるのも難しく、作業はなかなか進みませんでした。できあがった時は本当にうれしくて、この看板を見てあいさつしてくれる人が増えたらいいなあと心から思いました。街頭運動では、最初ははずかしくてなかなかチラシを配れませんでした。ですが、町民の方に話しかけていただいたりして少しずつですがあいさつをすることができました。この活動で、遊佐町がもっとあいさつあふれる町になったら良いと思います。

第二期少年議会では「カフェ・ラ・オートム」というお店をしました。第四期では、自分達のお店をやるのではなく、「だがし屋 たちより処 ぼん」の手伝いという形で小学生などに関わってきました。

ぼんの手伝いをしていて思ったことは「中学生がほとんど来ない」ということです。遊佐町には本当に中学生や高校生が集まれる所がないので、中学生が楽しめる場所を自分達でもっと考えればよかったと思いました。

次に第五期少年議会に伝えたいこと、やって欲しいことは二つあります。

一つ目は、少年議会のHPを作ってもらいたいということです。第四期少年議会でもHPを開こうと思ったのですが、時間や運営の難しさから諦めてしまいました。ですので第五期少年議会の人には早めに取り組んですばらしいHPを作ってもらいたいと思います。

二つ目は、遊佐町健康管理センターのシャッターの絵を書き直して欲しいということです。これは夏のときに町長から私達がたのまれたことです。これも第四期では実現できなかったの第五期の人に頑張ってもらいたいと思います。

最後に、遊佐町に提言したいことは、米〜ちゃんグッズを作りたいということです。米〜ちゃんがイメージキャラクターになってから二年も経ったのにまだなにもできていないので、人形やストラップなどをぜひ作ってもらいたいと思います。もう一つは除雪の強化です。これからの季節、雪の事故が増えると思うので、事故が少しでも減るように力を入れて取り組んでもらいたいと思います。

今回初めて議長という役職にもつき、自分自身三年目ということで、少年議会の中でも自分の役割が変わってきたと感じました。意見も出さなければいけないし、責任も大きくなりました。議会のみんに助けられながらここまで頑張ってきたと思います。

6ヶ月間お世話になりました。ありがとうございました。

少年議員

## 三浦 由人

私は少年議員の三浦由人です。私が少年議員に立候補してから早いもので、もう最終議会です。高校3年生という忙しい時期でありながら、議会を一度も休まず参加できて良かったです。

私が少年議員に立候補していなかったらきっと、平日は学校が終わったら家に帰ってゲームをしていたらろうし、休みの日は昼まで寝るといった堕落した生活をしていたと思います。しかし、少年議員に立候補してからは、平日は学校が終われば議会、土日はだがし屋ぼんの手伝いなど忙しい日々でしたが、今思えばとても充実した生活を送ることができ、少年議員に立候補して良かったと思いました。

私が少年議会の活動を通して本当に良かったと思ったことは、普通の人を経験できない事を経験できたという事です。例えば、北



京国際学生キャンプに参加することができたのも、少年議会のおかげです。北京国際学生キャンプでは普段、教科書やテレビでしか見る事のできない中国を、自分の目で見てくる事ができました。それにアジアの青年達と花笠音頭を踊り交流する事もできました。こんな素晴らしい体験ができて本当に良かったです。この経験が将来何かしら役に立つときがくるだろうと思います。

次に私が第五期の少年議会に託したいことは、自分達ができなかった遊佐町ホームページでのブログの作成です。少年議会でも何か活動をするたびに、ブログに議員の雑談や裏話を書き込んでいってほしいです。遊佐町のホームページは携帯でも見れるそうなので、遊佐町の若者も、見てくれると思います。ぜひ早くから取り組んで実現してもらいたいと思います。

また、自分達が出来なかった町民花の決定もしてもらいたいと思います。今期では完全な町民花の決定はできませんでしたが、来期でも花いっぱい運動に取り組んで、その際には、町民花として自分達が選んだ町民花を計画の中に取り込んでもらいたいと思います。そして、町のいたるところに花をいっぱい植えて、遊佐町を誰にでも暮らしやすい、華やかな明るい町にしてもらいたいと思います。

他にも、町民歌の決定について話し合った結果ですが、誰が作るか、またどうやって決めるかなどの意見が出て、今期では難しいということになりました。ですが、町民歌が決まればツーデーマーチや町のイベントの時に歌えば町民の心が一つになると思います。ですので、来期では町民の心を一つに目標に頑張ってもらいたいと思います。

また、健康管理センターのシャッターに、メッセージを含めて絵を描いて欲しいということでしたが、少年議会でも話し合った結果、時間を有効に使える時期でないと難しいということと、冬だとペンキが乾きにくいということもあり、来期で早くから取り組んで実現してもらいたいと思います。この課題が実現すれば駅前をよく電車の利用者が通るので、シャッターに絵が描いてあれば駅前の商店街がにぎやかになると思います。それに少年議会でも絵を描いたとなれば、町の人にも少年議会の頑張りをアピールできるので頑張ってもらいたいと思います。

他にも町民盆踊り大会の参加や、奥の細道鳥海ツーデーマーチ、ふるさとCM大賞、神鹿角切祭も積極的に参加し、若者の力を町の人にPRしどんどん活躍していただきたいと思います。

最後になりましたが私は少年議会の活動を通して大きく成長することができました。少年議会の活動では、大人の人と関わることもあり、政策について話し合うなど他の高校生より一足早く社会を体験することができました。自分が社会に出たら周りの人は自分より年上の人だと思うので、少年議会の活動を通して身につけたコミュニケーション能力をぜひ将来に生かしていきたいです。ありがとうございました。少年議会、ありがとう遊佐町。

少年議員

## 渋谷 健嗣



私は少年議員の渋谷健嗣です。私が少年議員の活動を行い感じたことが三つありました。一つ目は高校生と中学生の活動の速さが全然違ったということです。私も中学生に入ったばかりなのでどうこう言えませんが、やはり高校生の方は、決めたらすぐに活動できるということがとてもすごかったです。

二つ目は自分の考えをしっかりと話すことができたということです。全員協議会などでは、最初私は、ほとんど話そうとせず、ただ話を聞いているだけでした。しかし、少年町長が何度も話すチャンスを与えてくれて、例えば町民花の候補を挙げる時、自分の意見をしっかりと伝えることができました。これからはもっと自主性を持って発言したいと思います。

三つ目は、ほとんどの活動ができず、迷惑をかけてしまったことです。私は、中学校で柔道部に所属していて、ほとんどが大会や遠征で、それが少年議会があるときと重なってしまい、私の分を町長、議員の方から

フォローしてもらい、なんとか続けることが出来ました。本当に悪かったと思っています。もし今後、少年議員をするときは、迷惑をかけないように活動したいです。

次に、来年の少年町長、少年議員に実現してもらいたいことがあります。それは少年議会HP作成です。これは、私達が実現しようとしたものの一部ですが、間に合わず、実現できませんでした。そこで来期の少年議員に託したいと思います。これが実現できれば、きっと全国にも遊佐町の少年議会というもの知られ、遊佐町も有名になると思います。

もう一つは、時期の関係で実現できなかった清掃活動です。これも来期の少年議員にがんばってほしいと思います。ただ清掃をするのではなく、その地区の方々とのふれあい、交流を通じてやっていければいいなと思っています。他にも実現してほしいことはまだありますが、私がなぜこの二つを選んだかという、実際に、少年議員は人前でいろいろなことを行っていますが、それでもやはり少年議員のことをくわしく知っている人は多くはないと思います。そこで一つ目のHP作成を出しました。それから二つ目の方は、さっきも言った通り、ふれあいと交流の中で、少年議員にもっと関心を持ってもらい、そしてよく知ってもらうためです。そして最終的に、この二つは少年議会、そして遊佐をもっとよく知ってもらうためのものです。

最後に私は、遊佐町に提言したいことが二つあります。それはもっと遊佐町のよさを伝えるべきだと思います。遊佐にしかない鳥海山、そして全国から参加が来るツアーマーチ、もっとこれらを広げて行って欲しいです。

二つ目は、少年議会をこのままずっと続けていってほしいと思います。私もやっていて思いましたが、少年議会というのは、一回やれば終わり、では意味がないのだと思います。何回も何回も話し合い、そして考えをまとめて、やっと一つのすばらしいものが出来上がるのだと思います。そしていずれは遊佐を代表するものの一つになって、もっと遊佐町をよいものに作り上げていってほしいと思います。

最後に私や少年町長、少年議員は、いろいろなことを活動し、実現し、遊佐のためにがんばってきました。もうこれで少年議会は解散となりますが、また新しい少年議会が活動します。私達の分もがんばってほしいと思います。そして私も、これからは自分のためだけでなく、みんなのために、一日一日を大切に、生活していきたいです。

# 政策予算により実施したものの

## 2006 北京国際学生キャンプ(8月6日~8月11日)

アジアの青少年の相互理解による団結の促進と、豊かな国際感覚をもつひとづくりを目的として、8月6日から8月11日まで、中国・北京にて開催され、中国・韓国・日本から約1,000名の青少年が参加した「2006北京国際学生キャンプ」に、今期少年議会からも4名が遊佐町派遣団として参加しました。各国の若者との交流をとおして、自分を表現することの大切さを学びました。また、海外から日本、遊佐町を見ることで、さらに広い視野にたつて遊佐町のこれからの考える良いきっかけになりました。



## 音楽イベント 「遊佐 ROCK」 開催 (10月22日)

遊佐町を若者が集まる活気溢れる町にするため、今年も少年議会が企画・運営を行い音楽イベント「遊佐ROCK」を開催しました。当日は、前年よりも出演者・観客ともに増え、熱い演奏と踊りに客席から拍手が巻き起こりました。少年町長・少年議員も、トランシーバーを片手に会場準備から司会まで全員がスタッフとして活躍しました。



## 「だがし屋 たちより処 ぽん」参加

(11月11日~12月17日) ※土日のみ



遊佐駅前で開催中の「だがし屋 たちより処 ぽん」にスタッフとして、イベント企画、販売に携わり、子どもからお年寄りまで、お店を訪れたたくさんの町民の方々とふれあいました。「若者の力により遊佐町中心街に賑わいを生み出したい」という目的に賛同して一緒に活動した「ぽん」、今後もより多くの方々から来店していただきたいと願っています。

## あいさつ運動

(標語募集:11月30日~12月7日 街頭呼びかけ:12月17日)

有権者からの「遊佐町を町民が互いに思いやりをもつ町にして欲しい」という意見を実現するため、町内各小学校5・6年生を対象にあいさつ標語の募集と選考を行いました。その後、標語をもとに自分達で看板を作成し、12月17日に街頭であいさつ運動を実施しました。寒い中ではありましたが、「みんなで声を掛け合って町民みんなが心豊かな町にしましょう」と元気に呼びかけました。(標語 応募総数 225作品)。

○あいさつ標語 選考により少年議会あいさつ運動標語に選ばれた作品

- ・あいさつで 夢と希望の 明るい未来 蕨岡小学校6年 五十嵐 雄大さん
- ・あいさつは みんなにとどく ミサイルだ!! 西遊佐小学校5年 工藤 美都希さん
- ・ほくたちの あいさつ聞いている 鳥海山 蕨岡小学校5年 土門 航大さん



第4期少年町長・少年議員の活動  
政策予算により実施したもの

昔遊び・郷土料理教室 (12月16日)

「遊佐町を誰でも仲良くお互いに支えあう町にしよう」をスローガンに、世代間交流を図るため、子どもからお年寄りまで誰でも参加できる「昔遊び・郷土料理教室」を開催し、竹馬、ビー玉、めんこ、竹とんぼ作りなどの昔懐かしい遊びともちつきを行いました。大人の参加者が子ども達に、昔を懐かしみながら遊び方を教えたり、「もち丸めるの、初めて!」と言いながら、熱々のもちを一生懸命丸める子どもに大人がコツを伝授するなど、仲良く交流を行いました。



「若者が選ぶ町民花」  
選考・決定及び  
町への提案

(12月27日 第3回少年議会時)

遊佐町を明るく華やかな町にするため、町花(チョウカイフスマ)とは別に、町民が身近に楽しめる町民花を決定し町に提案しようと考え、有権者を対象に募集し自分達で選考し、シバザクラを「若者が選ぶ町民花」として、環境美化運動等に役立ててもらおう町当局に提案しました。



バリアフリー及び  
防雪策設置要望書の  
作成・提案

(12月27日 第3回少年議会時)

「誰もが安心して住める町にしてほしい」という有権者の意見から、自分達で現地調査を行い、駅のバリアフリー化と中学校通学路への防雪柵設置と除雪徹底の要望書を作成し、町当局に提出しました(詳細は ページ参照)。



その他の活動

- YTS ふるさとCM 大賞出品 CMの企画・出演 (撮影:10月9日)
- 議会開催 少年議会(本議会形式) 3回 全員協議会 11回  
※各政策検討班による個別活動は除く。
- 少年議会だより 発行回数 1回(少年議会通信 広報ゆざ掲載回数 6回)

第4期少年町長・少年議員の活動

少年議会の政策提言により、町が実現したもの

町内バス停へのベンチ設置

(12月26日)

「遊佐町を誰にでも安全で住みやすい町にしたい」という思いから、昨年からは実施している町内バス停へのベンチ設置について、今年も少年議会では政策の一つとして挙げ、吹浦駅、あぼん西浜前、役場前に組み立て式のベンチを設置しました。



町民盆おとり大会参加

(8月14日)



奥の細道鳥海  
ソーデーマーチエール

(9月2日・3日)



神鹿角切祭スタッフ

(10月9日)



## 平成18年度遊佐町少年町長・少年議員公選事業プロジェクト名簿

	所 属	職 名	氏 名
1	教育振興課	教育次長兼教育振興課長	佐藤 幸一
2		総務学事係長	伊藤 悦子
3		課長補佐兼生涯学習係長	東海林 茂勝
4	議会事務局	局長	佐々木 正紀
5		次長兼議事係長	金野 周悦
6	総務企画課	課長	斎藤 三郎
7		総務係主任	中川 三彦 (選挙管理委員会書記)
8		課長補佐兼企画係長	東海林 和夫 (事務局)
9		企画係主任	奥山 仁志 (事務局)
10		企画係主事	斎藤 浩一 (事務局)
11		企画係主事	本間 裕行 (事務局)

○遊佐町少年町長・少年議員公選事業の実施のため、遊佐町役場内にそのサポートのためのプロジェクトチームを立ち上げる。

○プロジェクトチームは、実際の事業を執行する際、直接若者達の支援を行う。

※担当課 教育委員会教育振興課・議会事務局・選挙管理委員会・総務企画課

### おわりにかえて

平成18年度少年町長・少年議員公選事業にご支援、ご協力をいただいたすべての皆様に心から感謝申し上げます。

本事業も今年で4期目を迎え、有権者を含む多くの町民の皆さんから広く関心をもっていただくようになりました。また、各マスメディアから取り上げていただくことも多く、特に青少年育成、選挙教育においての有効性の面から、町外・県外の方々からも沢山の問い合わせ等をいただきました。

しかし、その認知度の高さが本事業の主役である中学生・高校生の立候補には結びつかず、定員数に満たなかったために全員が当選、事業開始以来初めて選挙が実施されないこととなりました。

これを受けて、有権者の皆さんの本事業への意識を調査するため、急遽アンケートを行いました。その結果、「学業・クラブ活動で時間がないから」「選挙になるのが嫌だから」今まで立候補を考えなかった、という声がその大多数を占めました。しかし、その一方で、今年度は立候補しなかったものの、「まちづくりに参加したかったから」立候補を考えたとの声も、全体の約5%ありました。

この数字が示すものは何なのか。どうすれば少年議会の活動に参加してもらえるか。今年度少年議会の活動は、このアンケート結果に向き合うことから始まりました。

我々事務局では、この事実への対策として、現在の中学生・高校生を取り巻く環境に適応した事業の仕組みやスケジュール、フォロー体制づくりなどシステム上の見直しだけでなく、より若者の考え方や若者が日常抱えている問題意識に配慮した事業運営が必要不可欠であると考え、あえてアンケート結果を若者の代表である少年議会メンバーに示し、一緒になって議論しました。彼らはその事実から真正面から取り組み、有権者の皆さんからも、自分たちの意見を自分たちの手で実現することの意義や喜びを知ってもらうため、「町民参加型の活動」を今期活動のキーワードとして掲げました。活動内容も、少年議会だよりによる周知だけではなく、アンケートによる政策決定や参加型イベントを実施することで、有権者との関わりを深めようと試みました。彼らにとってプレッシャーが伴う任期期間であったに違いありません。しかし、彼らは、我々大人が驚くほどの柔軟な発想と若さあふれる行動力で、真摯に活動に取り組んでくれました。この結果は来期以降の少年議会に反映されてくると思いますが、メンバーの熱意と努力が実ってくればと強く願っております。

若者が、地域を見つめ、地域の中で居場所・活躍する場所を自分達の手で作らだし、「誰かに必要とされている」「自分はここに居ていいんだ」という自分の存在意義や喜びを、この遊佐町の中で見出す。そのために、行政や地域の大人が、しっかりと彼らと向き合い、励まし応援しながら、共に地域をつくっていく。少年議会の活動は、このまちづくりの基本を我々に教えてくれました。我々行政も、少年議会の皆さんが残したまちづくりの芽を大切に育み、将来を担う若者を積極的に支援していきたいと考えております。

最後に、学業、部活動など多忙な学校生活の中、時間を惜しまず活動してくれた個性豊かな7人の若者達に感謝するとともに、彼らの未来が実り多きものになることを心から願っております。

平成19年3月

山形県遊佐町役場総務企画課企画係 東海林 和夫・奥山 仁志・本間 裕行



明日の遊佐町に  
ぼくたちは  
わたしたちは

提案します。

